【事業名】スマートコミュニティによる葛尾村の復興モデル事業

■ 事業概要

主な事業者	葛尾村、福島発電、葛尾創生電力 （北芝電機、須賀川瓦斯、積水ハウス）※
事業場所	福島県葛尾村
事業期間	◆マスタープラン策定事業 平成29年4月～平成29年12月 ◆スマートコミュニティ構築事業 平成30年12月～令和2年12月
事業費および補助金額	・事業費総額：782（百万円） ・補助金額　：517（百万円）
主な導入設備	・太陽光発電設備：1.2MW ・蓄電池：約3MWh ・自営線（約5km） ・CEMS ・MDMS(スマートメーター) ・EV：2台 ・EV充放電設備：3箇所　　等

※マスタープラン策定時参加企業

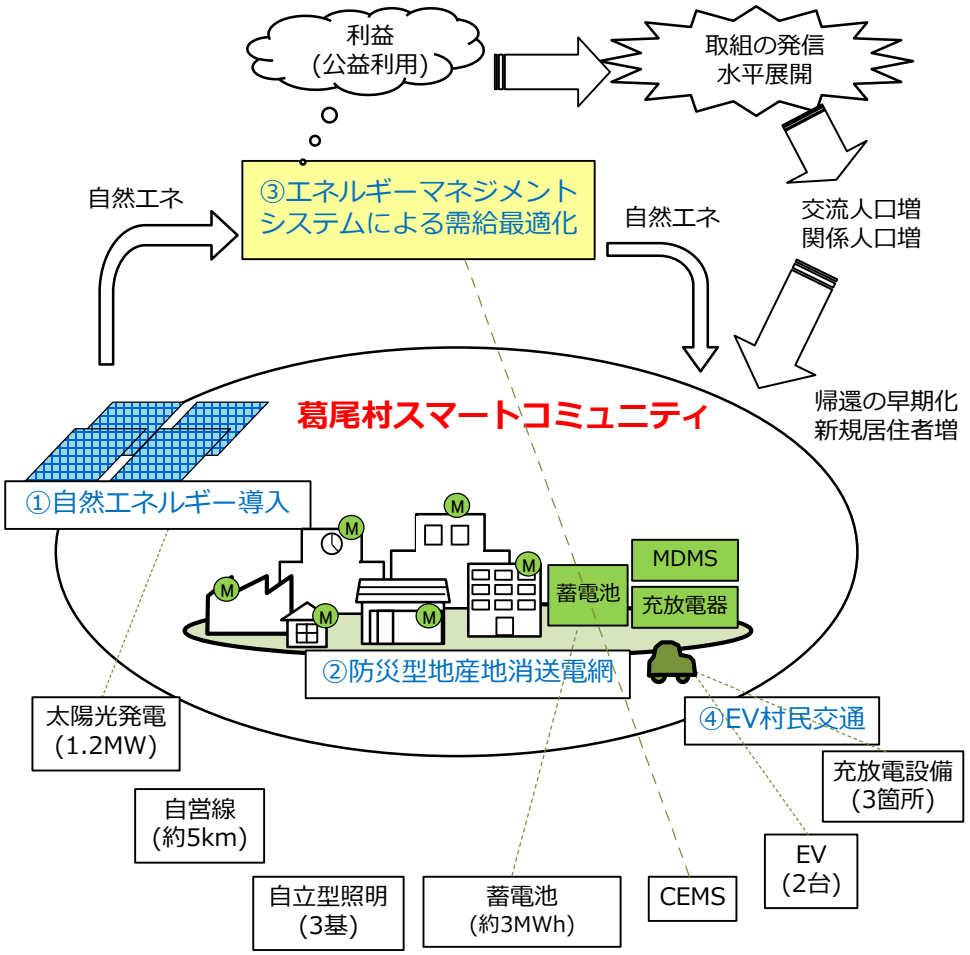
■ 事業の目的および特徴

- 自然豊かな過疎の村である葛尾村において、地域資源を活用したエネルギーの創出と、災害時のエネルギー確保など防災力の強化、そして地域の雇用創出・魅力向上・ブランディングの実現を目的とし、スマートコミュニティ構築を目指す。
- 村内のエネルギー需要に最適な再エネ発電設備を導入し、CEMSと蓄電池で需給をマッチさせ、経済的に継続性のある設備導入を行う。
- これら設備の維持管理運営は葛尾創生電力株式会社が実施していく。

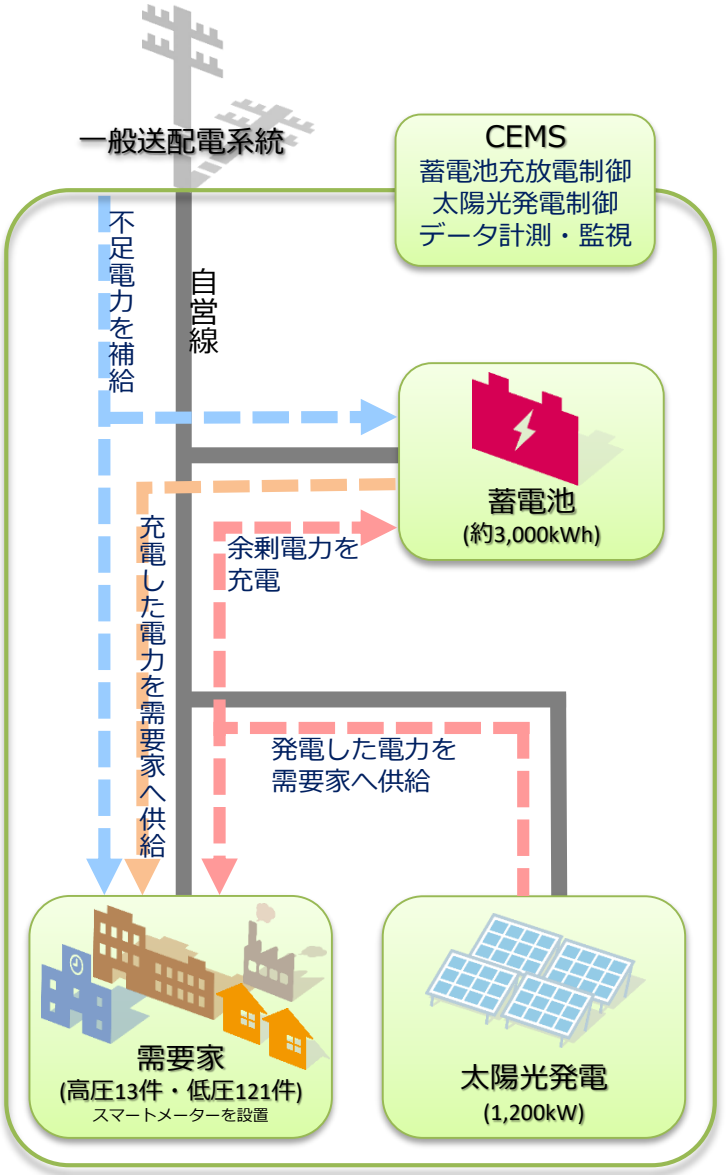
■ 導入の効果

- 自然エネルギー地産地消の村の実現
- 災害時の村中心部の電力自立72時間
- 地域エネルギー会社による経済の地域循環

図.葛尾村スマートコミュニティ(イメージ)



【事業名】スマートコミュニティによる葛尾村の復興モデル事業

■事業全体図

■構成図